

起因物、事故の型：人力運搬機 - 激突されの死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	業種小コード	労働者規模
1	8~9	店舗後方の1階搬入口にて、カゴ車搬入の荷受作業に従事中、トラック運転手と2人でトラック荷台内よりホームへ渡すスロープの上あたりで、カゴ車がバランスを崩し、前のめりに倒れ、押さえきれずに被災者の足に落下した。	23	80209	30~49
1	9~10	バックヤードにおいて、通路の壁面に向かって立ち、床洗浄機の片付け作業を行おうとしたときに、店舗従業員が押して来た商品運搬用カートに右側から激突され、左足首の内側を痛めた。	59	150102	30~49
1	9~10	乗務時、離陸後ベルト着用サイン消灯後、最後方ギャレー内で飲み物を作成し、手洗いで、背後に置かれたカート2台のうち後方の1台が倒れかかり、背中にぶつかりカートとギャレーハンドルに身体が挟まれ、腹部が圧迫された。カート上ポットから温かい飲み物が、右手肘から手首、右手甲と小指全体にかかった。	23	40103	1000~9999
1	9~10	約4tの品物を荷台にのせて引っ張って移動している時、前輪のタイヤに左足親指付近に乗り上げ骨折した。	70	11209	10~29
1	9~10	店内2階通路において、荷物を降ろしたカゴ車を片付けるため移動させている時、曲がろうとしたが車輪がうまく曲がらず、カゴ車が倒れてしまい、左足の甲にカゴ車がぶつかってしまい打撲を負ってしまった。	51	80201	100~299
1	17~18	構内で梱包積み商品を積載したBOXを貨物エレベーターに移動させる途中に曲がり角を曲がる際に、方向転換するため向きを変えようとしてBOXを移動し、勢い余って膨らんで曲がってしまい、被災労働者の顔面にBOXが当たる。	37	80401	10~29

1	22~ 23	構内にて大型車両の荷台内で積み込み中、輪止め（長さ約1.1m、厚み約5cmの材木）で固定していた台車の上にある荷物（水・約30kg）を引きずるように動かしたところ、台車が少し動いて右前方の輪止めが外れてしまい、台車の後部が時計回りに動き出し、台車の取っ手の左上角部分と左下の縁部分が右腸骨（腰）と右足ふくらはぎに接触し負傷した。	48	40301	50~ 99
1	12~ 13	洗い場で皿を洗ったのち、台車に大量の皿を乗せて、収納するために移動した時、左側に傾いたので左足で止めた。そのあと膝が痛み、湿布と痛み止めの薬を使用した。徐々に痛みが強くなり、歩けない状態になった。	62	140101	30~ 49
2	16~17	農産作業場内でZカート車を前に押して移動中に荷積みされたハーフ台車にZカート車の前面がぶつかり、その反動で、Zカートの角部分が左ひざに直撃し、打撲した。	50	80209	—
2	18~19	ホーム上でハンドリフトを引いて商品を仕分けていた際に高く積みあがった商品の中から、商品を整理する為に後ろ向きに下がってきた路線乗務社員の右足の内側のくるぶしにバレットの角が当たり負傷した。	37	40301	100 ~ 299
2	16~17	当社、仕入荷受室で、カーゴ台車をサニテーション作業をしている時、しゃがんだ姿勢で収納状態のカゴ台車の側面を開いた後、安全バーが解除されていた為、底板が落下してしまった。頭部額に接触したと同時に、受傷者も横転した。	59	10109	500 ~ 999
2	9~10	荷主様の駐車場で、ゲート付車両で荷物をゲートから降し、カゴ台車をゲートから下ろそうと引っ張った時、ゲートのストッパーにカゴ台車の車輪がはまり、バランスを崩しカゴ台車が倒れてしまった。倒れて来たカゴ台車が足に当たり、負傷してしまった。	43	40301	50~ 99
2	10~11	協力会社の倉庫内にてカゴ台車移動時に別の列のカゴ台車が転倒し避けきれずに足首が下敷きとなり骨折する。	23	80109	—
		製品の運搬作業中、通常はフォークリフトで移動させる製品パレットを、フォークリフトが故障していたためハンドリフトにて移動を行っていた。パレットの重さ400kg位を移動していた際、リフトを切り替え			50~

2	10~11	るためにハンドルを引き押し返そうとした時に、パレットの重さでリフトが止まらず踏ん張っていた左足側面に乗り上げ負傷した。（安全靴は着用していた。）	47	10899	99
2	11~12	工場内作業場カゴ台車通路にて作業中カゴ台車を移動させている時に、他の作業員が押すカゴ台車がぶつかり背中左側を打撲した。	42	10309	1~9
2	5~6	事務所内倉庫において作業中に後方より乗務員が商品台車搬入の際に被災者背面部分に衝突した。	34	80401	1~9
2	3~4	ホームトラックで接岸した時にホームとトラックに段差が出来、注意をしながら作業をしていたがカゴ車が倒れ右足を負傷した。	47	40301	100 ~ 299
2	16~17	業務用エレベーター2階からカゴ台車を載せ、1階で降ろす作業をしていたところ、エレベーター扉のワイヤーロープが切れ、4mの高さから扉が落下した。扉がカゴ台車に衝突し、その衝撃によりカゴ台車が後頭部、背中、臀部に衝突した。前方に跳ね飛ばされるように転倒した。	40	50101	—
2	13~14	園庭にて、子供達の外遊びを監督中に、後方から三輪車に乗った子供に激突され、そのまま後方に倒れた。その際に、膝の裏を打撲した。	50	130201	30~ 49
2	21~22	ベース構内で仕分け作業中、左側から移動してきたボックスを止めようとしたが、勢いに押され止めきれず左足がボックス底部に巻き込まれ負傷した。	17	40301	500 ~ 999
2	20~21	作業場にて、空のラックを移動させようとした時、ラックを勢いよく引いて動かそうとしたところ、ラックが倒れてきて下敷きになった。	35	170101	300 ~ 499
2	20~21	派遣先である事業部内の作業場で空のラックを移動させようとした時、ラックのタイヤが横向きに向いている状況で動きにくかったため、勢いよく手前に引いて動かそうとしたところ、ラックが倒れてきて下敷きになった。	35	11403	30~ 49
		路面の悪い傾斜地に足場板を敷いて下ってきて、押していたキャタピラ			

2	11~12	式の運搬車を右に方向転換しようとしたところキャタピラが右に方向転換しようとしたところキャタピラが右に傾き運転者の補助をしていた被災者がキャタピラに巻き込まれ、キャタピラと共に転倒し、負傷した。	40	10909	—
2	11~12	台車搬送作業中（塗装ライン）2人でそれぞれ1台の台車を搬送していたところ、2人目の作業者が1人目の作業者との距離感を誤り近付き過ぎて1人目の作業者の左足アキレス腱部に台車前側下部の角材を衝突させた。	23	170101	10~ 29
2	3~4	派遣先にて別の作業者がハンドリフターで製品（約150kg）の入ったパレットを運搬中、被災者横のパレットをぎりぎりの状態でかわし移動しようとしたところ、前方にあった障害物をよけようとハンドルを切った時に被災者横のパレットと別の作業者の押すパレットが接触し、被災者横のパレットが動き被災者の右足に当たった。当たった反動で右足首をひねり捻挫した。	36	170101	50~ 99
2	2~3	荷捌場（ホーム）で台車に接触し転倒した。頭や腕、足を負傷したものである。	70	50101	50~ 99
3	10~11	充填室の入口周辺にて、キャスター付きの台車を押して移動している際に、話しかけられ立ち止まり話をしていたところに、原料肉を載せたワゴン（ミートワゴン、キャスター付き）を移動中の社員が気づかずに後部から衝突し左腰を打撲した。	57	10101	300 ~ 499
3	7~8	キッチンの梱包室で発砲を積んでいるラックを移動、整理しているときにバランスの悪い（斜めになっている）ラックを使用していたため、ラックが倒れて膝を直撃し、転倒してラックの下敷きになった。こわれたラックを修理せずに使用していたことが原因である。	49	140201	50~ 99
3	11~12	1階の出荷バースにて、シュートより流れてくる商品をカゴ車に積み替える作業中、他者がカゴ車を運搬していたが、周辺にカゴ車が散乱しており、作業場所が十分確保できておらず、被災者の左大腿にぶつかった。	46	50101	100 ~ 299
3	5~6	ロールボックスを搬入する際にのぼりスロープを押しして搬入しようとしたところ、スロープを登りきらずに押していたロールボックスが倒れてしまい、倒れたロールボックスの下敷きになり死亡した。	51	40301	300 ~ 499

3	11~12	店バックヤードのネットスーパー作業場で、空きダンボールをダストシュートに入れようと、ダストシュート扉前に置かれていた台車（横120×縦42×高さ50cm）を手前にずらそうと動かした際、台車の上に分解して立てかけていた長台車がずれ落ち、台車の持ち手を握っていた左手の人差し指付根部分に当たり負傷した。	53	80201	300 ～ 499
3	16~17	洗い終わった洗濯物を傾斜させたワゴンに取り出す時、ワゴンが不安定な状態で洗濯物が入り、上下にバウンドしたワゴンが肋骨にぶつかった。	22	11703	100 ～ 299
3	18~19	勤務先である店前のフロンティア活動時、後方から店内洋品店の荷物運搬用台車に追突され転倒し、左足をひねり、左第5中足骨基部骨折を負い、2ヶ月の患部安静となる。	56	80209	50～ 99
3	9~10	溶接加工用の素材置場から運搬用の台車に入った材料を作業場へ動かすため、手で引っ張った際に台車がバランスを崩して自分に向かって倒れ、左足を挟まれ、左足ひざ付近に創傷を負った。	21	11203	100 ～ 299
3	8~9	トラックの荷物を降ろしている際に、荷台にあった台車が転がってきたので咄嗟に受け止めたところ、台車の角が直撃した。	30	40301	100 ～ 299
3	9~10	廃棄物の搬出ゴミ置場へ運搬中、キャスターが破損した為、作業台の重量に2名が耐え切れず作業者が転倒し、左手中指を切断した。	19	40301	—
3	5~6	作業現場でカートを入れ替えている時に引いていた空カートが柱にぶつかりそうになったため、避けようと空カートを引き出した際、背後に半分ほど荷物が積まれていた別のカートがあり、その下に踵が挟まったため負傷した。同時に引いていた空カートも両膝に当たり負傷した。	24	40301	500 ～ 999
3	5~6	作業現場でカートを入れ替えている時に引いていた空カートが柱にぶつかりそうになったため、避けようと空カートを引き出した際、背後に半分ほど荷物が積まれていた別のカートがあり、その下に踵が挟まったため負傷した。同時に引いていた空カートも両膝に当たり負傷した。	24	170101	50～ 99

3	17~18	厨房室からB棟1階の入口付近で、5病棟それぞれの担当者が夕食の配膳車をエレベーターまで運ぶ為の移動中、自分の順番が来たので軽い傾斜の所を通過して平坦な所で押し始めたら、前方が詰まったので止まったところ、後ろの担当者がそのまま押して来たため配膳車と配膳車の間に挟まれ、左足首と左下腿部を打撲した。	58	130101	100 ~ 299
4	16~17	コンテナ左側面の両開き扉を開けた時に、ロールボックスが手前ドライバー側に移動してきたため、両手で支えようとしたが支えきれず、ロールボックスが落下する時によけきれず、頭と腰に当たり負傷した。	58	40301	10~ 29
4	17~18	競馬場内で物件を積込作業中に、台車をテールゲートに乗せようと足を踏ん張り押していたところ、後方から送られていた鉄台車が左足首後部に当たった。	44	50101	100 ~ 299
4	3~4	畜産作業場で、使用済みのブルーコンテナ（タテ45cm×ヨコ60cm×高さ10cm重さ2kg×26段）を2個乗せた台車を片付けようと移動中、後ろからもう1台コンテナを積んだ台車が勢い良く運ばれてきたのに気付かず、台車が背部・腰部・足に当たり負傷した。	50	80209	100 ~ 299
4	23~24	資材荷受場でパンの納品業者のトラックから、台車に積まれたパンの荷受けをしている際に、納品業者が渡そうと押し出した台車の番重が背中に強く当たった。納品業者が相手の状態をよく見ずに台車を強く押し出したのが原因である。	47	10109	500 ~ 999
4	12~13	店舗敷地内における従業員用自転車置き場にて、出会い頭にアルバイト従業員とぶつかり、壁に右肩を強打し、骨折と脱臼をした。	68	80209	50~ 99
4	12~13	物流ラインでカウント作業中、他の従業員が運んでいたカゴ車が腰と右足にぶつかり打撲した。	73	10109	100 ~ 299
4	10~11	タオルたたみ機で使うカートに乾燥後のタオルを入れている作業をしていた所、後方のカートを他の人が動かした為にカートが左足ふくらはぎ下にあたり打撲を負った。	59	11703	50~ 99

4	4~5	病院での夜間勤務中、車椅子利用者トイレからナースコールがあったのでトイレまで駆けつけドアを開け、中に入ろうとしたところ突然患者様が車椅子をバックさせてきたため、車椅子に体がぶつかり、バランスを崩し転倒し、右手首に疼痛と腫脹が生じた。	59	130101	100 ~ 299
4	14~ 15	バラきのご作り中にダンボールカッターを取ろうと移動した際、横から来た台車と衝突して右ひざを負傷した。	63	10109	100 ~ 299
4	3~4	朝刊配達作業中、道路に配達用自転車をとめて作業をしていたところ、自転車が倒れ、足の上に乗ってしまった。配達し始めたばかりの時間だったため、前籠には新聞がたくさん入っていて自転車が重くなっており、下敷きになった足を骨折した。	54	80205	30~ 49
4	17~ 18	待機中にトイレから自車両へ戻る際、空置場にあった2段積台車が風にあおられて動き出したため、台車を足で止めようとした。その際、右膝に痛みがあったが、積込を実施して帰庫した。その後も痛みがあり脚が腫れており、右膝骨折だと分かった。	51	40301	50~ 99
4	10~ 11	報告書提出の為に訪問先から事務所へ移動の途中、自転車同士で衝突し、腰を圧迫骨折した。（自身が右折しようとしたところ、後から走ってきた直進する自転車とぶつかった。）	61	130201	100 ~ 299
4	10~ 11	商品を収納するゴンドラの端に事務作業用の机があり、机との仕切りがそのゴンドラで仕切るような配置となっている。そのゴンドラと事務机との間の空間が狭いのでその空間を広げようとし、7連結したゴンドラをトラックで動かそうとして、トラックとゴンドラをロープで括り引っ張ろうとした際、ゴンドラそばにあった飲料を積載したカートが倒れた。そのはずみで自身にあたり、後ろ向きに尻もちをつき、背骨を負傷した。	61	80209	100 ~ 299
4	7~8	品出し作業終了後、緑のコンテナを積んだカートと保冷用銀台車を前後にし同時に運んでいた際、前に置いてあった銀台車をよけようとした際、後方にしていた保冷用銀台車が止まりきらず勢い余って右足を轢	53	80201	100 ~

		き、右足首のくるぶし辺りを骨折した。			299
4	9～10	構内にて作業中に、折りたたんだロールボックス5本を引っ張って移動している際、左足がボックスタイヤに轢かれ、左足中指を骨折する。	61	170101	500～999
5	3～4	自転車に乗って新聞を配達中、砂利道で自転車を降りて固定しようとした際にバランスが崩れ、右足の上に自転車が倒れて右足首を負傷した。	80	80205	50～99
5	0～1	被災者は通路を背にして器具の洗浄作業をしていたとき、通路を別の作業者がタンクを運搬して通過している際に被災者の腰部にタンクがぶつかった。	52	10109	100～299
5	20～21	物流センター内にて、積み降ろし中、カゴ台車を引っ張り出す際に、荷台とホームの間でカゴ台車が傾き、手で支えきれずに右太ももへ直撃した。	52	40301	30～49
5	11～12	小学校配膳室において、手押しで給食を運ぶコンテナを移動中に不注意により、その車輪に足を挟まれ負傷した。	33	10109	50～99
5	12～13	惣菜作業場で弁当製造中、作業場に同僚が運んできた5段カートに接触し、バランスを崩し身体の左側が下になって転倒してしまった。その後、息苦しさが残るようになった。	61	80209	100～299
5	8～9	移動支援でお客様を学校まで送り届けた後、自転車を学童まで置きに戻る途中、道幅の狭い道で、人をすり抜けながら走ってきた自転車の高校生とぶつかった。高校生の自転車のハンドルかブレーキ部分が右手中指と薬指の間にはまり、手の甲にかけて裂傷、左足打撲し、アザを負った。尚、高校生は急いでいたため、名前を聞くのが精一杯な状況であった。	69	130201	100～299
5	16～17	被災者は、請負現場で配達物の入った台車をチェックする作業に従事していた。台車の往来の多いエレベーター前でチェック作業をしていたとき、請負元の社員が台車をエレベーターから搬出しようと、出口付近を確認せずに押し出したところ、作業していた被災者の右膝に台車がぶつ	41	170209	100～299

		かった。			
5	18～ 19	勤務施設内1階の食堂にて入居者が食後服薬する薬の確認作業中、介護職員が入居者が乗る車椅子を押して通りかかった際に車イスが左踝に接触し、痛みが走った。	53	130201	50～ 99
5	11～ 12	配送先のプラットホームで荷降ろし作業中、トラックのパワーゲートからカーゴ車（ビール缶30ケース、重さ約300kg）を降ろそうと移動していた時、カーゴ車の片方の車輪がプラットホームとパワーゲートの段差（約5cm）を越えた瞬間、反動でパワーゲートが上下に揺れ、その揺れによりカーゴ車がバランスを崩し倒れそうになったため支えようとしたが、カーゴ車の重みを支え切れず、右半身を下にしてプラットホームに転倒し負傷した。	57	40301	30～ 49
5	10～ 11	運送会社で商品仕分け及び格納作業をしている時に、商品を載せるカゴ車の組み立てをする際に、2台まとめて手前を引いて移動させようとしたところ、手前のタイヤが回らず、そのまま労働者のつま先に転倒し、左足親指と人差し指を挫傷した。	28	170101	500 ～ 999
5	15～ 16	店のバックヤード（段ボール庫付近）にて、折り畳んだ空のカゴ車を運搬中に発生した。折り畳んだ状態で運んでいたが、右に曲がろうとした時、折り畳んであった部分が自分の体の方に開いてしまい、開いた面の下部の角が、右足首にぶつかり、11針縫う裂傷を負った。	54	80209	100 ～ 299
5	15～ 16	工場内で台車を運搬中、路面の段差に車輪をとられた状態で引っ張った。重い台車なので両手で引く指導をしていたが、片手で台車上部の角を引っ張るような感じで引いたため横転した。その際、倒れてきた台車が右太ももに当たり打撲した。	33	10109	50～ 99
5	21～ 22	構内でクール室よりクールボックスをトラックの積み込み番線へ移動中に、ボックスの車輪の調子が悪く、途中でボックスが止まったところに後から同じように移動して来た別の人のクールボックスの底面が左足を巻き込み、接触した。その拍子に転倒し、両足の中足骨を骨折した。	59	40301	300 ～ 499
		配膳準備のため厨房外の廊下で4階食堂からおりてきた空の配膳車を一人			

5	10～ 11	が押し、自分が引いて運んでいた際に勢い余って左足のサンダルの上に コマが乗って負傷した。	50	10109	10～ 29
5	11～ 12	店の売場において、品出し作業中に店内が混雑してきたため、その場に 立ち、お客様の通り道を確認していたところ、年配のお客様が使用され ているショッピングカートが正面から左足関節部に衝突し負傷した。お 客様は違う方向を見ていらっしまったため、カートが衝突した認識がな く、そのまま帰られた。	44	80209	50～ 99
5	13～ 14	商品管理倉庫内で、商品のピッキング作業中に通路で台車を持って立ち 止まっていたところ、後ろから来た男性の押していた台車が、本人の足 首に強く接触した。	38	170101	10～ 29
5	23～ 24	荷捌きホーム上で大型トラック荷物の積み込み作業を行っている時、10 kg位の段ボールケースが20個載った台車を積み込みの為、後ろ手に引い て通路を移動していたところ、台車の角が軸足の左足踵に当たり乗り上 げるような形になり負傷した（安全靴着用）。当初はあまり痛みもなく 様子を見ていたが、痛みが増し、左足踵の骨折が判明した。	60	40301	100 ～ 299
5	6～7	荷受場で空きカゴ車をバケツリレー方式で撤去していた際、段差のある 所で不安定になったカゴ車を持ち損ねて、カゴ車が倒れて当たり左足甲 を打撲した。	63	80201	500 ～ 999
6	20～ 21	クール仕分け室より、仕分け済コンテナを移動させる際、本来押して移 動させるものを引いて移動させたため、右足甲部分がコンテナ下部に滑 り込んでしまい負傷した。	27	40301	500 ～ 999
6	17～ 18	お客様店舗にて、パワーゲートを使用しカゴ車を降ろす時、ゲートより 落下しそうになった、レンジなどの商品が収納されていたカゴ車を支え ようとした際に、横転させ、左母趾末節骨骨折、左足関節捻挫、左腓腹 筋損傷をした。	60	11702	50～ 99
6	12～	店の搬入口駐車場において、4tトラックのパワーゲートから荷物が載っ た台車を下した際、地面の傾斜方向に台車が進み、倒れそうになった台	61	40301	50～

	13	車を自分の正面から受け止めたが受け止めきれず、避けた。当日は、そのまま仕事を続け帰宅したが、翌日に痛みが出た。			99
6	9～ 10	店舗内鮮魚売り場横の店舗から、バックヤードへのスイングドア出入口にて、店内より乳製品の在庫を載せた台車を他の従業員が運んで来たので、バックヤード側からスイングドアを引っ張り開けて、台車が入ってきたのでドアを離し、バックヤードへ行こうとしたところ、思った以上に早く進んで来たので、台車の台部分が右足首に当たり挫傷した。	48	80201	10～ 29
6	22～ 23	宅配便を方面別に仕分ける構内で、専用のロールボックスパレットに荷物を積み込む作業中、ロールボックスパレットの中間棚の上に荷物を入れる際、頭に被っていたヘルメットのツバがロールボックスの前格子をするバーを押し上げた事により外れ、バーが下に落下した。その際に作業者の鼻に当たり、骨折に至る。	47	40301	500 ～ 999
6	8～9	バックルームで、売場から畳んだスチールワゴン（縦60cm×横120cm×高さ80cm、重さ18kg）を2台運搬中、カーブを曲がる時にバランスが崩れて、右足の上にワゴンが倒れ、右足親指にひびが入った。	64	80201	500 ～ 999
6	23～ 24	トラックの荷台で荷物を積み終え、ジョロダーを転がらないようにひっくり返した時、レールの溝の角にジョロダーが当たり、跳ねかえったジョロダーが右足首の内側に当たった。初めは打撲だろうと自己判断し、積み荷を降ろして帰社・帰宅したが、痛みが激しくなり腫れも酷くなったので病院へ行くと、骨折していると診断された。	50	40301	10～ 29
6	11～ 12	1F利用者用フロアにて、椅子に座って書類整理をしていたところ、後方より配膳車がぶつかってきて、前方に投げた出された。その際、骨盤周辺に違和感を覚えた。	37	130201	50～ 99
6	12～ 13	構内のCライン補充庫前で、ダンボール箱を捨て終わって空いたカゴ車をたたみ、補充庫内から前室へ移動しようとした際、カゴ車を内側から押し運んだためにカゴ車のバランスが崩れ、カゴ車が背面側に倒れてしまい、咄嗟に持っていた手を離したが、倒れたカゴ車が左足小指辺りに乗り上げ、左足第五趾骨折となった。	48	50101	100 ～ 299

6	11~ 12	リカーコーナーにて冷蔵ケースに商品補充をしていたところ、買い物カートを持って走り回っていた子供が背後からぶつかってきて、買い物カートと冷蔵ケースに挟まれて右足をぶつけた。	37	80109	300 ~ 499
6	0~1	構内作業場にて、ゴミ置場から戻る途中のスロープで、別のスタッフが押していた台車が後ろからぶつかり、左足のかかと付近を負傷した。	47	170101	50~ 99
6	0~1	構内作業場にて、ゴミ置場から戻る途中のスロープで、別のスタッフが押していた台車が後ろからぶつかり、左足のかかと付近を負傷した。	47	80401	30~ 49
6	21~ 22	被災者が商品を保冷カゴ車に積み込む作業を行っていた際、カゴ車を所定の位置に置く為に移動してきた作業者のカゴ車が、被災者と接触し、被災した。尚、当時事故の報告が作業責任者になく、災害の事実を確認した者もない。被災者も既に退職しており、加害者も特定できなかったため推測にて記載したものである。	43	50101	100 ~ 299
6	15~ 16	納品作業中に、パワーゲートより長台車を降ろそうと、ストッパーを外していたところ、店員が店内に長台車を引き込もうと台車を引っ張った為、台車の底の部分の角に足の甲を接触してしまい、負傷した。	49	40301	1~9
6	12~ 13	コンテナを積んだ台車を作業所に運ぶ際、床の排水用の窪みにタイヤがはまって倒れて来た。その際、後ろにあったコンテナの台車にぶつかり、体を打ちつけた。	55	10109	50~ 99
6	12~ 13	コンテナ台車を運搬中に、窪みにタイヤがはまり倒れかかり、逃げた際に後ろにあった台車に身体をぶつけた。	55	170101	10~ 29
6	17~ 18	ペットボトル飲料が満載の6輪カートを移動しようとした際、後方が気になり振り返った。その際、カートの勢いがよくて止めきれず、足を前輪で挟んだ事故である。	28	50101	50~ 99
6	10~ 11	工場で作業中、台車が足首にぶつかった。初めは症状も酷くはなかったが、症状が悪化した。	34	10109	10~ 29
7	9~10	商品をしゃがんでピッキングしているところ、カートが接触し転倒したため、右臀部を打撲した。	49	80109	500 ~

					999
7	13~14	荷降し先での作業中、カゴ台車に約200kg（11kg×18ケース）の荷物をトラックから引っ張り出す際に、トラックの荷台が倉庫の床より15cm位高かったため、鉄板を敷いて段差を無くしたが傾斜ができてしまい、カゴ台車ごと転倒し左足大腿部を骨折してしまった。	48	11703	100 ～ 299
7	10~11	派遣先事業場にて、入荷業務として商品の棚入れ業務を行っているときに空になった鉄製の台車（180cm×50cm×180cm）を入れ替える際に強く引っ張り誤って台車の最下部分が右足くるぶし外側付近に当たり、打撲した。	45	80209	100 ～ 299
7	10~11	自動車通勤で、出勤時、終業前に、ベルク（テナント）指定の駐車場所（屋上）に車を駐車し、下る階段へ向かって歩いていた際に、階段の手前に水たまりが、あった。避けて通過しようとして、足を滑らせ、転倒し、負傷してしまった。	39	40301	100 ～ 299
7	16~17	作業者は、当日朝より、倉庫前のプラットフォームにパレットで積載されていた、入荷商品をリフト（リーチフォーク）で片付けていた。被災者は朝礼後別棟の事務所へ移動、その際、作業者が操縦するリフトの左脇を横切った。同刻作業者は、二段に積上っていた商品をラップで固定するため、荷降ろしと共に、リフトを後進させた。その際路面の歪みにより、車体のバランスを崩し、荷崩れを起こした時、移動中の被災者の右後方より、商品が右肩に接触した。	32	80109	30～ 49
7	14~15	いつも通り入社前トラックの窓掃除をした際、鳥のフンがあり清掃中バランスを崩してふみ台から落下し、膝をつく着地になってしまった。横着をして、踏み台の位置を降りて、置き変えなかった事で、不安定な体勢になり転落した。	21	80209	100 ～ 299
7	10~11	派遣先事業場にて、入荷業務として商品の棚入れ業務を行っているときに空になった鉄製の台車（180cm×50cm×180cm）を入れ替える際に強く引っ張り誤って台車の最下部分が右足くるぶし外側付近に当たり、打撲した。	45	170101	100 ～ 299

7	12~13	被災者はホイップクリームを積んだ番重（5寸番重8枚および空番重1枚計9枚）と、ジャムを積んだ番重（5寸番重1枚および空番重1枚計2枚）を運搬していた。被災者側に番重9枚、前方に2枚を連結させた状態で通路を運搬していたところ、前方の番重台車が他の原料を載せたパレットにぶつかり、はずみで連結器具が外れ、被災者側の9枚の番重が前方に倒れてしまった。番重が倒れた拍子に跳ね上がった台車が被災者の両脛に当たり被災した。※ホイップクリームを積んだ5寸番重は1番重あたり20kg、8枚で160kg。	44	10104	1000 ~ 9999
7	15~16	被災者（以下「甲」）は、派遣先において、ピッキング・仕分・出荷業務に従事していた。甲はピッキング作業のためカゴ車を押して移動していたところ、商品収納棚の間から出て来た派遣先社員の運転するモビス（カゴ車運搬用機器。以下「乙」）が、甲の押していたカゴ車と衝突し、カゴ車が、甲の右膝に接触して負傷した。原因は、甲乙双方の前方不注意によるものである。	22	40301	100 ~ 299
7	4~5	盛付室において台車積みにした食材を運んでいた別の従業員と出会い頭にぶつかり、膝を打撲した。台車には納豆がライスバットいっぱいに入っておりぶつけた従業員も走っていたので、より大きな災害となった。現場には片付けられていないバットがあり、それが死角となっていた。	52	10109	300 ~ 499
7	17~18	作業場内において清掃作業中、立てていた空の状態のラック（洗浄前の卵が入った容器を重ねて載せる鉄製の台車で、約90kgある。）が転倒。左足のふくらはぎに直撃し負傷した。転倒したラックは、老朽化のため、不安定な状態で立っていたものと考えられる。	65	80109	50~ 99
7	13~14	店舗納品口にて商品搬入を行っており荷物満載のカート台車をドライバーが押していたが、荷物が、死角になり前方が見えなかったため、納品口前に居た被災者の右足にカート台車の車輪が乗りかかってしまった。病院での診察後、右足部圧挫傷と診断。約1週間の安静加療休業が必要。	26	80109	50~ 99

7	23	フォークリフトで作業をしていた。その際、水で濡れた床でフォークリフトがスリップした。スリップをとっさに、足で押さえようとしたため、カートラックと接触したことにより受傷。	40	40301	50～ 99
7	78	トラックを積込ホームへ着車し、カート台車を積込作業中に後方より運転手の押すカート台車の下部が、左足下部へ後から追突したため左アキレス腱を打撲した。	52	40301	30～ 49
7	2223	業務請負先において、サッカー競技終了後の撤収作業中、陸上競技用ネットの台車を15名程で移動をさせていたところ、先導者による方向転換時、進路方向に目が行って足元確認を怠ったため、誤って台車が右足の甲に乗ってしまい、負傷した。	32	140309	50～ 99
7	89	荷卸し先でカゴ台車を使って納品を行おうとした。（カゴ台車はパワーゲートのストッパーで止めていた）ストッパーを解除し、カゴ台車を動かした。カゴ台車の前輪を通した時、体がよろけてしまい、後輪がストッパーに引っ掛かり、カゴ台車が転倒しそうになり、カゴ台車を支えようとしたが、カゴ台車ごと転倒し、右足首が台車に挟まれた。	34	40301	100 ～ 299
7	78	入居者様居室でリクライニング型車椅子に全介助にて移乗して頂いたが、上手く移乗できず、リクライニング型車椅子からずり落ちそうになられた。そのためリクライニング型車椅子後方から入居者様を持ち上げようとした。指導した方法ではない方法で介助したため、グリップがろっ骨に当たり骨折したと思われる。	34	130201	10～ 29
7	13～ 14	工場内でごみが入った大型の箱がキャスター付きの台車から落ちてきたため、とっさに抑えようとしたところ箱重量に耐えきれず尻もちをついてしまい、胸椎の骨折および左足首を捻挫した。	59	10101	—
7	17～ 18	被災者は、工場にてブロックハム（円柱：500×120mm、7.0kg）56本を吊るしたステンレス製三段構造台車より、スライス工程へハムを供給し、残りを台車ごとフロアスケールにて計量後、冷蔵庫へ保管する作業をしていた。その際、台車の上・中段に片寄ってハム16本が残っていたため、手前に引き寄せた台車がバランスを崩し、左側へ避けたが重みで	32	170101	100 ～ 299

		転倒し、左肩・背中・腰を強打し負傷した。			
7	17～ 18	派遣先事業所において、ブロックハム（円柱：500×120mm、7.0kg）56本を吊るしたステンレス製三段構造台車より、スライス工程へハムを供給し、残りを台車ごとフロアスケールにて計量後、冷蔵庫へ保管する作業をしていた。その際、台車の上・中段に片寄ってハム16本が残っていたため、手前に引き寄せた台車がバランスを崩し、左側へ避けたが重みで転倒し、左肩・背中・腰を強打し負傷した。	32	10101	100 ～ 299
7	13～ 14	執務室入口前の廊下で立っていた際、搬送者の視線より高く積まれた段ボール箱を載せた台車が、背後より追突してきて転倒した。	46	90103	500 ～ 999
7	5～6	売場で朝の荷卸しの際、カゴ車のストッパーを上げようとしたところ、ストッパーが固かったため勢いがついて、左目に当たり打撲した。	53	80201	500 ～ 999
7	11～ 12	バスを運行するため発車待ちをしていたところ、車椅子のお客様が乗車してきた。車椅子を固定するため足ベルトを左手で引き出そうとしたとき、後進してきた車椅子の車輪が左手に当たり、左肩に痛みがはした。	44	40202	100 ～ 299
7	10～ 11	病室で患者のベッドシート交換作業をしていたとき、病棟スタッフが、患者が乗ったストレッチャーを押して後方を通過しようとしたところ、左足首にストレッチャーの車輪カバー部分が当たって負傷した。	60	170209	10～ 29
7	12～ 13	施設の冷蔵庫内通路で、畜産PCパックを店別に仕分けしたパレティーナを2台運んでいるとき、同じ通路で青果パレを運んでいる業者とすれ違う際に、避けようとして自分の運んでいたパレティーナの底網と右足かかとの上部が接触して受傷した。怪我をした当初は病院へ行くほどではなく、自分で手当てをしていたが、腫れと痛みが酷くなってきたため受診した。	30	80209	50～ 99
	17～	作業が終了し、帰宅するため工場玄関を出たとき、作業者が手で押して			100

7	18	運搬していた荷物を積んだカゴ車と接触し、地面に腰から落ち、頭を打った。	62	10109	～ 299
7	19～ 20	会場施工工事で、会場に備え付けの台車を、施工の妨げにならないよう、会場に隣接する収納庫へ収納するため、牽引しながら運んでいた。その際、勢い余った台車が、牽引していた被災者の左足に乗り上げる形で接触した。	26	30309	100 ～ 299
7	10～ 11	トラック荷台冷凍庫に入り、マイナス25℃状態のため荷台の床が凍っており、床が滑る状態での荷卸し中、荷台前方より後方にパレットに積み上げた荷物をジョルダーを使って引っ張り運んでいたとき、凍った床で足を滑らせ後ろ向きに転倒した。その際、ジョルダーの引っ張り棒が跳ね返り、右側肋骨に当たり、右側肋骨を骨折した。	51	40301	50～ 99
7	15～ 16	巡回清掃中、小学5～6年生くらいの男の子がカートを押して走ってきたので、避けたつもりが避けきれず、カートが左足の小指に接触した。そのまま勤務したが、痛みが出てきたため受診したところ、ヒビが入っており、全治3週間との診断を受けた。固定されているので歩くのに支障はないと思い、翌日以後も勤務を続けた。その後、痛みが強く、再度受診したところ、骨折していると診断された。	69	150101	50～ 99
7	8～9	店内からバックヤード（倉庫）へ行く通路で、商品をのせたカゴ台車を店内からバックヤードへ移動しているとき、1m弱の緩い傾斜で、カゴ台車にスピードがついて止めきれず、壁とカゴ台車の間に体が挟まれて、左手首に台車がぶつかった。	47	80209	10～ 29
7	20～ 21	被災者が蓄冷式コールドボックスを移動している最中に、別の作業員が横からコールドボックスを押してきたため、右手首をぶつけ、骨折した。	63	40301	100 ～ 299
9	13～ 14	折りたたみであるカゴ台車2台を運んでいる時に、カゴ台車がバランスを崩し転倒。その際に左足が下敷きになってしまった。	46	50101	30～ 49
9	14～	避難訓練のため、2Fエレベーター前でエレベーターに乗る順番待ちをしている時に、後ろから介護士が押している車イスに左足首を強打され	46	130201	10～

	15	る。			29
9	8～9	センターのホームでロールボックスパレットを移動中、別の作業をしていた作業員に気付かず、腰の部分にロールボックスパレットを当ててしまう。	26	50101	30～ 49
9	10～ 11	東9Hセカンド地点でプレー中に、お客様のボールをカート道路付近で探していたとき、ボールは見つかったが、無人カートが動いていたことに気付かず・カートバンパーから、左足脹脛に衝突、その衝撃で背中や頭などをカートにぶつけた。	57	140301	50～ 99
9	9～ 10	品出しの作業中、バックヤードにあるカゴ車（高さ180cm×横85cm×奥行65cm）を移動しようとカゴ車を引いた時、ロックがかかっていた為、カゴ車が倒れてきて右前腕を強打した。	30	80209	10～ 29
9	15～ 16	出荷場所で出荷準備の立ち作業中に、台車に通函箱を乗せて移動中の他の作業者が背後からあたった。	37	11403	30～ 49
9	1～2	派遣先である、製品の内視鏡検査作業に従事中、手直しする製品を一時的に置いておく台車が満杯になったので、検査場から選別置場まで、両手で台車を引きながらバックで移動していた為、コンクリート製の床の劣化して剥がれた箇所で車輪がはまって動けなくなった為、抜け出そうと勢いよく台車を引いたところ、バランスを崩して正座状態になった被災者に向かって台車が倒れてきた。被災者は、右に避けたが避けきれず、台車が左臀部に直撃して受傷したものである。	36	170101	100 ～ 299
9	15～ 16	食品売場で平台を移動させようとした際、重みで平台（縦75cm×横160cm×高さ66cm、重さ396kg）が壊れ、ペットボトルごと倒れてきて当たり、左足首を骨折した。	22	80209	500 ～ 999
9	15～ 16	リネンをカートに乗せ、所定場所に移動の際、出入口ドアを開けカートを運んだが少し勾配があり、カートが動きドアが閉まり足を挟んだ。	62	170209	—
		食品加工工場内でキャスター付給水ポンプを手で押して移動させていたところ、床面のはがれた窪みにキャスターが引っかかった、抜け出そう			

9	11～ 12	と手で押したり引いたりしていたところキャスターのナットに緩みがあったため、キャスターのボルトが1本架台から抜け落ち、架台が傾き右足の指の付け根付近を直撃した。この時、ポンプが重量物であったため、挫創骨折した。	39	10101	50～ 99
9	1～2	1Fベース構内で持ち場から荷積み場までロールボックスを引っ張って行き、目的場所に到着する手前で、他方から来たロールボックスと腕が接触した。	66	40301	500 ～ 999
9	15～ 16	2Fクール作業場にて、クールBOXを1Fへ下ろす作業の為、エレベーターに積み込みを行っていたところ、次に積み込む空のクールBOXが転がって来て、左足首に当たりボックスの隙間に挟まれた、当初は仕事を中断する程でもなかった為、作業終了まで行い帰宅したが、腫れがあり病院へ行ったところ、骨折であると診断をうけた。	52	40301	100 ～ 299
9	15～ 16	1F荷捌き場から6F作業場所へ既設EVを使用しプラスターボードを運搬する作業をしていた。被災者は6Fに上がってきた台車に乗せられたプラスターボードをEVから引き出し、材料置き場まで運搬する作業を3人の共同作業で行っていた、台車に乗せられたプラスターボードは前方で舵取り（被災者）、後方で他の者が押す作業となっていた、被災者は方向調整する為に後方作業員に声をかけたが止まり切らずに台車のタイヤに左足をふまれ負傷した。	28	30201	1～9
9	3～4	ドライバーが積み込みの為両手で2台のカゴ台車を移動させていた、片方は手で押し、もう片方は手で引っ張りながら移動させていた、近くで作業していた作業者に、ドライバーが押していたカゴ台車が腰に当たり被災した。	55	40301	50～ 99
9	7～8	荷物の受け渡し場所から店内に入る為、保冷用の台車を引っばっていたら、段差のところでひっかかり台車が上から倒れてきて、下敷きになった。	37	80209	50～ 99
		当社営業所常温庫の荷降ろし場にて、カゴ台車を車輻から降ろす作業中、車輻の荷台と荷降ろし場に出来た段差にカゴ台車のキャスターが挟			50～

9	1~2	まり、カゴ台車が倒れ、右脚が下敷きとなり、受傷したもの、なお、帽子、作業用手袋、安全靴は着用していた。	52	40301	99
10	17~18	翌日の仕込みした材料を容器に入れ、スチコンカート、高さ150cm位幅50cm位、奥行80cm位のスチコンカートに並べ、1人で精肉の冷蔵庫まで運ぶ。作業場の床の段差にカートの車が引っかかり横倒しになってきた為、右手で支えたが、51kg位の重量があった為、腕に痛みが生じた。	37	80209	50~99
10	10~11	ピッキング作業中にしゃがんで商品を取っていた際に、後方の別の作業員がピッキングカートを前進させてしまい、死角にいた被災作業者に追突する。	31	50101	300~499
10	10~11	スイング式の扉の反対側から勢いよく台車を押してくる人が見えたため、食品トレーを持ったままと扉の手前で待っていたところ、台車ごと扉に突っ込んできた。そのため、扉と食品トレーが接触し、衝撃で左手首から肩にかけて負荷がかかり痛めた。	29	10109	100~299
10	10~11	当工場東館2Fフィルムコーティング準備作業において、計量済の移動式溶媒計量タンクを右手で押しながら、左手でハンドリフターを引っ張る形で移動していた。途中、計量タンクの動きが悪くなり立ち止まったところ、惰性で移動してきたハンドリフターの本体下部と床の間に左足を挟まれた。	19	10803	100~299
10	8~9	商品の品出し中にカゴ台車の上の商品を取ろうとした際、商品がカゴ台車に引っ掛かりロックしていなかった為、カゴ台車が動きだし体で受けとめて強打した。	59	80209	100~299
10	16~17	派遣先水産加工会社工場にて、清掃作業中、ごみを捨て振り返ったところに金属製の手押し車が目の前に滑りこみ、右足の向こう脛の部分を打撲した。	43	170101	50~99
10	16~17	梱包室にて、清掃作業中、ゴミを捨て振り返った処へ移動中のステンレス製台車が滑り込み、右足に当たり負傷した。	43	10102	50~99
					100

10	22～ 23	派遣社員が倉庫内で台車を引いて運搬作業中、台車を止め移動場所を確認しようとした所止めていた台車が風にあおられ左足にぶつかった。	34	40301	～ 299
10	22～ 23	倉庫内で台車を引いて運搬作業中台車を止め移動場所を確認しようとしたところ、止めていた台車が風にあおられ左足にぶつかった。	34	170101	100 ～ 299
10	11～ 12	道路左側の歩道を歩いていた時に、後方から走ってきた自動車に追突された。加害者は前から来た車と歩いていた被災労働者を避けようとしたそうだが、ブレーキをかけ損ねたとのこと。ノーブレーキで追突され、後方から突然だったため、一切身構えが不可能で、飛ばされ、地面に叩きつけられ負傷した。	44	170101	100 ～ 299
10	6～7	クールの発送置き場にてクールの引っ張り作業後、戻ろうと振り向いた直後（荷物はクール品）、再度、荷物を取りに振り向いた無防備な状態でカゴ台車が後から衝突して右アキレス腱、右下腱を負傷する。	32	170101	50～ 99
10	6～7	コールドロールボックスパレットを移動させる作業を行っている際、所定の置き場にコールドロールボックスパレットを置き、元の場所に戻ろうとした時に、後方から別のコールドボックスパレットが動いて来て、右足のアキレス腱部分を負傷したものである。	32	40301	500 ～ 999
10	21～ 22	1階仕分け場で仕分け作業を行っていた。荷物が一杯になったロールパレットボックスを運ぶ時に、ロールパレットボックスが右ひざにあたり負傷したものである。	29	40301	500 ～ 999
10	11～ 12	病院で祭りがあり、患者様を迎えに行き帰る時、他のゲームのとなりを通った。4～5人の車イスの方の前方にカートがあり、引き返そうとしている方や前進している方で立ち往生した。前方のカートを動かそうと前に出た時、車イスのタイヤが右足の甲の上に乗った。	50	130101	300 ～ 499
10	9～ 10	冷凍庫で、ケーキのラックを運搬中、ラックが床に引っかかり、ラックが倒れてきたので受け止めた際手を痛めた。	31	10104	100 ～ 299

10	11～ 12	包装作業場にてオペレーターがきのこを乗せた台車を押して箱入れ作業者の後ろを通った際、箱入れ作業者が気付かずに後ろに下がり台車に右足首の後ろ側をぶつけ負傷した。	43	10109	100 ～ 299
10	15～ 16	当社事業所にて倉庫作業中に負傷する。同僚従業員がパレット（縦1m×横1m×高さ30cm）1枚をハンドプラッターで移動していたところ、不意にパレットが被災従業員の足にかかり転んだ。その際、右手を地面につき手首を負傷したもの。	58	80109	30～ 49
10	16～ 17	店内の作業場で、清掃の準備中に通路を移動中の食肉を積んだ台車を押していた人と、お互い気が付かず、台車が体の右側にぶつかり転倒し、負傷した。	64	80209	10～ 29
10	10～ 11	4トントラックより2個のカーゴ（1個332kg）の積み下ろし作業中、トラックのウィングを開け、カーゴに装着していたラッシングベルトを外し、アオリを下げようとしてキャッチを外したところ、2個のカーゴがアオリ側に傾き、カーゴの重さにより、アオリが急に開いた。アオリのそばに待機していた被災者が、開いたアオリに飛ばされて、左側半身をアスファルトに打ちつけた。	23	40301	50～ 99
11	8～9	保健福祉センターにて介護予防事業の準備で椅子を並べる為、広場左側の舞台袖から椅子39脚を乗せたポーターを出そうと引っ張り出した際、ポーターごと本人に向かって倒れ背中から腰部を強打した。	43	130201	100 ～ 299
11	5～6	冷蔵庫からカートラックに載せ商品を店内に引き込もうとした際、売場で落ちた物を拾おうとしたところ、引いていたカート（縦40cm×横120cm×高さ190cm・50kg）の勢いを止められず、左足に当たり、踵を打撲した。	53	80201	100 ～ 299
11	17～ 18	勤務終了後、店舗の出口に向かって歩行中、後ろからお客様が押していた買い物カートが勢いよく足にぶつかり、左アキレス腱を痛めた。	51	80209	100 ～ 299
	16～	倉庫内をリーチフォークリフトでバック走行から停車して降車する際に、コンクリート床についた左足が引っ掛かり、体をよじる様に転倒し			30～

11	17	た。転倒の際に床に打ち付けた左膝を骨折と手をついた際に、右肩を脱臼及び骨折した。	30	80409	49
11	16～ 17	着物が入ったバッグの仕分けを行う際にカゴ台車が数台あったため、作業スペースを確保しようとカゴ台車の片付けを行った。カゴ台車を折りたたんでいる際に、一度たたんだ台座部分が倒れてきて左足の脛に直撃した。	30	170101	30～ 49
11	10～ 11	ゴミ置き場で床に座りゴミ袋をたたむ作業をしていた時に、隣で作業をしていた清掃員が後方よりゴミ回収業者のカートが近付いていることに気付き声を掛けた。しかし避けようとした際に腰を捻り、避けきれずカートが腰にぶつかった。	60	150101	10～ 29
11	11～ 12	おやつを乗せたカートから中身を取り出し、該当ユニットの配膳車の上に載せる作業をしていた際、カートからおやつを取り出そうと前かがみになっていたところ、後方から流れてきた配膳車に腰と臀部がぶつかりその衝撃で転倒し、後頭部を打ち首に痛みを感じた。	64	130201	300 ～ 499
11	7～8	荷受場でカゴ車を片付けようとした際、デコボコしていた地面にタイヤがはまって、カゴ車（縦100cm×横100cm×高さ165cm、重さ100kg）が倒れて左足にぶつかった。受診し、左足甲の骨挫傷と診断された。	51	80201	100 ～ 299
11	20～ 21	商品の搬入時に店舗外スイングドア前の段差スロープにてカーゴ車の前輪が引っ掛かり後輪が浮き上がり、その際に首から肩にかけてカーゴ車側面がのしかかった。	19	80209	30～ 49
11	21～ 22	閉店後のゴミやダンボールをまとめて本人と他の従業員と台車2台で3階へ持って行く時に、倉庫前で照明を点けようとした際に後ろから来ていた台車が足首に当たり負傷した。その時は軽い打撲とっていたが、痛みが取れず後日に整形外科を受診し、左踵挫傷と診断される。	48	80209	30～ 49
11	9～ 10	お客様宅を自転車で訪問途上の事故である。お宅前で自転車を停めた際、前籠が重くてスタンドが外れ、自転車が右側に倒れてきた為、避けようとして右足甲外側を強打した。休日出勤の届けは提出しており、お	51	90103	30～ 49

		お客様対応の為の活動で半日出勤となる。傷病部位は右足甲外側骨折。			
11	9～ 10	精肉作業場で盛り付けられたパックを乗せている10段カートを補助するため動かした時に倒れ、カートで右手を打撲した時に骨折した。	59	80209	100 ～ 299
11	12～ 13	店舗搬入口で、空箱をカゴ車に積もうとして片付けてあるカゴ車を引き出そうとしたら、足の上にカゴ車が倒れて来た。	65	80209	50～ 99
11	11～ 12	当社支店ホーム上にてコンテナの荷卸を行っていた。積み付けした台車をコンテナから出そうとしたところ、ホームよりコンテナの方が高く鉄板が外れ、台車のコマがホームとコンテナの間に落ち込んだ。他の乗務員2名と引っ張り上げようとし一旦持ち上げるが、動かない為落とそうとした際、台車左角が右足甲に当たり負傷したものである。	23	40301	100 ～ 299
11	22～ 23	夜間商品仕分け作業でカゴ車搬送中、専用カゴ車を縦向きに引っ張っていた状況から、横向きに引っ張った為、バランスが崩れ転倒したカゴ車が当たり打撲した。	47	80109	10～ 29
11	18～ 19	工場内2Fのグロサリー部門にて、商品のピッキング作業中に商品を車輪付荷台車に積み込み、本人は右側に立った状態で右手前方に荷台車を持ち、左手にも後方に同様にもう1台別の荷台車を持って牽引していたところ、左足のかかところが左側後方の牽引していた荷台車前側の車輪と車輪（左右）の間に挟まり、荷台車の重さが左足かかるとに掛かり、打撲及び靭帯損傷した。	48	170101	300 ～ 499
11	18～ 19	構内2Fのグロサリー部門にて、商品のピッキング作業中に商品を車輪付荷台車に積み込み、本人は右側に立ち右手前方に車輪付荷台車を持ち、左手で後方に同様にもう1台牽引していたところ、左足のかかところが後方の牽引していた荷台車の前方車輪と車輪の間に挟まり、荷台車の重さが左足かかるとに掛かり、打撲及び靭帯損傷した。	48	40301	50～ 99
11	14～ 15	産廃の入った産廃箱をトラックにパワーゲートを使用し積み込もうとした時に、ストッパーを立てていたがゲートから落ちて来たので箱を避けようとしたが、右手の手の平を箱の角に引っ掛けて負傷した。	41	70101	10～ 29

12	21~22	定温仕分け室においてクール発送作業応援のため発送に使用するボックスを所定の場所にセットしようとした。その際、通路にてコールドボックスを交差しようとしたがボックスを掴んでいた右手がコールドボックスの角に当たり右手甲部分を負傷した。	56	40301	100 ~ 299
12	13~14	訪問した病院内で麻酔器の点検の為、作業所まで他の1名と廊下を移動していた。進行方向の前側を受け持っていたが、停止する際にキャスターとキャスターの間のフレーム部分が右足踵に乗り上がってしまい、踵部分を裂傷した。	51	11403	1~9
12	18~19	加熱殺菌用の釜から、加熱処理後のおでんを載せたトレーカーを台車に移す際、アルミ棒でトレーカーを勢いよく台車に移す作業中に、アルミ棒でトレーカーを勢いよく引いた際、台車が動き、台車が膝に当たり打撲した。	52	170101	30~ 49
12	19~20	納品時、トラックの庫内で納品準備を行っていた際、カゴ台車のロックが外れてしまい、道路に傾斜があったため、カゴ台車が大きく動き、カゴ台車と庫内の壁の間に挟まってしまった。痛みがあったが問題ないと思い作業を続け、その後も出勤していたが、勤務中に痛みが酷くなり早退し、病院にてレントゲンを撮ったところ、骨折していたことが発覚した。	45	170101	500 ~ 999
12	17~18	社会福祉施設内の厨房にて、夕食の配膳に使用する大きな配膳車を厨房からエレベーターホールへ出そうとしたところ、配膳車の重みにより、車体を留めることが出来ず、左手をドアと配膳車の間に挟み込んでしまった。ひどく腫れたため病院へ行ったところ、骨折していることがわかった。	74	80209	10~ 29
12	16~17	4階にてバラピッキング作業中、後方から来た他の作業者のピッキングカートが腰に衝突した。反対方向を向いていた為、接近には気付かなかった。加害者は通路に入った時点で前方に作業者がいなかった為、前方をよく確認せずに発進してしまった。翌々日に通院し、腰椎打撲傷と診断された。	49	50101	100 ~ 299

12	7~8	仕分けが終了した空BOXを整理しようと移動した所、構内と大型着車との間にグレーチングがあり、BOXのタイヤがグレーチングに引っかかり、外そうとした所BOXが傾き、避けようとしたが蓋が外れ左足の甲に当たってしまい、足を打撲してしまった。	55	40301	—
12	21~22	生産棟（A3棟）着荷場で、シート運搬台車を降ろす作業をしていた。1台目を降ろし、2台目を降ろす際に、荷台コンテナのストッパーが上がっておらず、それに気が付かずにコンテナ内から台車を引き出した時に、そのまま台車が落下し、台車の持ち手をにぎっていた指（手）が、着荷場に設置してあった廃棄物コンテナに挟まり、被災した。※センサー（昇降台）の安全機能が破損していた。※ストッパーロックが何らかの原因でかかっていた。	51	11403	1000 ～ 9999
12	12~13	搬入場所において、台車を移動させた際、他の台車と台車同士が接触した。その反動で台車の持ち手部分が顔に当たり、右目下辺りを負傷（打撲）した。	17	40301	100 ～ 299
12	5~6	構内から仕分け用のカゴを外に出そうとしたところ、段差に傾き、カゴが倒れた際、右足の甲をアスファルトとカゴで挟んだ。	41	40301	50～ 99
12	15~16	工場内（請負職場）にて、製品を運搬する台車を2人で直列に並んで押していたときに、前方の被災労働者がスピードを落としたことに気づくのが遅れ、後方の台車に載った一番下のフレームが被災労働者の右踵に接触した。	61	11409	30～ 49
12	14~15	物流センター内のラベル貼付場にあるローラーコンベアの横で、商品入りバケットを送り出す作業中、不揃いとなったバケットを手直した際に、後から送られてきたバケットとの間に右腕が挟まったり、そのまま引っ張られ捻挫した。	20	80401	100 ～ 299
12	20~21	荷受場で、長台車に飲料を乗せて（重さ260kg）売場へ移動しようとした際、重たかったので踏ん張ったところ、車輪が足に乗り上げ、左足の第2足趾基節骨を骨折した。	17	80209	100 ～ 299

12	17~18	カゴテナー（飲料水300~400kg相当）を運搬中、不注意のため、勢い 余って車輪で右足を轢いてしまい、気づくと右足第1趾・2趾・3趾が赤く 腫れていた。	35	80201	100 ~ 299
12	22~23	クール室出入口付近で作業中、右手で端末を持ち、左手でコールドボッ クスを移動中、後ろからきたコールドボックスとボックス同士が接触 し、コールドボックスの移動速度が変わり、左足踵に衝突した作業事故 である。	21	40301	500 ~ 999

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html